

エフエム八ヶ岳番組審議会報告

エフエム八ヶ岳はリスナーの皆様のご意見を番組制作に反映させ、より良い番組づくりに努めております。放送内容について皆様からのご意見、ご感想をお待ちしております。今後の番組制作の資料とさせていただきますので、どうぞお気軽にお寄せください。

■2022年11月

エフエム八ヶ岳 11月の番組審議会の議題は、10月からの新番組「池田政子の暮らしの羅針盤」（木曜午前9時15分放送：再放送あり）です。池田さんは、山梨県立大学の名誉教授で団塊世代。心理学、ジェンダー研究が専門で、女性の社会的な地位、男女共同参画など、今日的な課題について県民の意識向上に努力されています。

10月6日・13日の放送内容について審議委員6名の主な意見は次の通りです。

- ・山梨県立女子短大の発足当時の時代背景から県立大学までの歴史的な変遷を再認識でき、有益だった。各分野で男性優位といわれる山梨県の実態について、今日的課題であるジェンダー問題についていろいろな角度から具体例を挙げながら分かりやすく話していたので、理解しやすく考えさせられる内容となっていて、好感が持てた。
- ・さすがに分かりやすく、講義を聴いているような感覚だった。特にデータを基本に現状を認識し問題提示をしていく手法は内容がクリアに見える。日常生活に埋没していると、ジェンダーに関する問題意識はあまりなく、まあこんなものかと思うのが我々の日常ではあるが、改めて問題提起されると日本の構造的な大きな問題という認識も出てくる。労働力不足や低生産性の問題解決にも女性の活躍が不可欠だと思う。
- ・いまさらながら「ある、ある」と思うことばかりだ。私の年代の女性たちは、それを当たり前のように思ってきたのだなあと思う。こうした社会的な男女格差の現実には男性だけの責任ではなく、女性も同じ人間として物事を見て、考えていかなくてはと思った。
- ・とても興味を持てる番組だと感じた。女性の社会的地位や歴史など、あまり聞くことができない話を池田先生の落ち着いた説得力のある話し方で、より一層耳を傾けやすい放送になったと思う。
- ・良い番組だと思うが、堅苦しい。少々息抜きができるコーナー（生活に役立つプチ情報や先生の趣味など）を作ってもよいのではないだろうか。
- ・ジェンダーについて何となく分かっていたつもりだったが、詳しく丁寧な説明でより理解が深まった。優しい語り口で、とても聞きやすい印象だった。ただ、統計に基づいた説明が多く、信憑性はあるが、それが何回も出てくるとラジオの性質上、頭の中で整理しづらいように思った。
- ・はじめは堅い番組かと思ったが、日本の社会にとって大きな問題なので、多くの人に放送を聞いてもらいたいと思った。
- ・中島みゆきの音楽もこの話に合わせて、番組を盛り上げたのではないだろうか。
- ・前参議院議員・宮沢由佳さんの話も具体的で、多くの人が女性も政治に参加することは大変重要であると感じたことだろう。
- ・具体的な問題解決への道筋はなかなか難しく、ゲストとの対談でそのあたりのヒントがいろいろ出てくるのと思う。一つでも具体的な展開となるような提起を期待する。